### 埼玉県職員仕事紹介セミナー

## 「大地震に備えたまちづくり」



県土整備部

道路街路課 道路環境課 用地課

# 地震に備えるために何をする?















### 大地震に備えたまちづくり

担当部局

危機管理防災部、保健医療部、農林部、**県土整備部、都市整備部**、企業局、下水道局、教育局、 警察本部

### 施策内容

大地震による被災者数を大幅に減らすとともに、社会や経済などへの影響を最小限にとどめるため、防 災拠点となる公共施設をはじめ、橋りょうや上下水道施設などの耐震化を推進し、強靱なインフラを構築 します。

大地震発生時の火災や建築物倒壊などによる被害を軽減するため、土地区画整理事業\*や市街地再開 発事業\*による基盤整備や住宅密集地の改善を促進するとともに、緊急輸送道路\*の沿道や大規模な民間 建築物の耐震化支援、応急危険度判定等の体制を強化します。

また、大地震発生後に円滑な救命・救急活動を行うため、防災拠点を結ぶ道路の整備や無雷柱化など を進めるとともに、デジタル技術の活用により道路啓開体制\*などを強化します。





無電柱化実施前



耐震補強施工後



無電柱化実施後

### 主な取組

- ■防災拠点となる公共施設の耐震化の促進
- ■水道施設の耐震化の実施
- ■下水道施設の耐震化の実施
- ■農業水利施設の耐震化の実施
- ■安全な市街地を形成する土地区画整理事業や市 街地再開発事業の実施と促進(施策38にも記載)
- ■住宅密集地の改善促進

- ■緊急輸送道路の沿道や大規模な民間建築物の 耐震化支援
- ■応急危険度判定等の体制の強化
- ■防災拠点を結ぶ道路の整備(施策40にも記載)
- ■無電柱化の推進
- ■幹線道路のミッシングリンク\*解消や多車線化
- ■緊急交通路\*の機能強化
- ■大地震に備えた道路啓開体制の強化

### 施策指標

### 平成8年より古い基準で建設された橋りょうの耐震補強率

県土整備部

平成8年より古い基準で建設された橋りょう◎のうち、耐震補強が完了した割合。 災害時の物流供給は重要であり、交通途絶を生じさせないため、橋りょうの耐震補 強を進めることは、大地震に備えたまちづくりに寄与できることから、この指標を選

③ 兵庫県南部地震を契機に「橋、高架の道路等の技術基準」(道路橋示方書)の改定が行われる 以前の基準で建設された橋りょう。

目標の根拠

平成8年より古い基準で建設さ れた橋りょうのうち、緊急輸送道 路上などの橋りょうの耐震補強を 令和8年度末までに完了させるこ とを目指し、目標値を設定。

### 電線類の地中化の整備延長

県土整備部

57.5km (令和2年度末) ► 65.7km (令和8年度末)

### 指標の説明

県管理道路のうち、電線類の地中化の整備が完了した延長。

災害時の電柱倒壊による避難、救急活動の妨げ防止や歩行者、車椅子の通行阻害 の改善を図ることで、大地震に備えたまちづくりに寄与できることから、この指標を 選定。

### 目標の根拠

過去5年間(平成28年度~令和2 年度) の実績を踏まえ、同水準の整 備延長を完了することを目指し、目 標値を設定。

## 主な取組

- ■防災拠点となる公共施設の耐震化の促進
- ■橋りょうや排水機場の耐震化の実施
- ■水道施設の耐震化の実施
- ■下水道施設の耐震化の実施
- ■農業水利施設の耐震化の実施
- ■安全な市街地を形成する土地区画整理事業や市 街地再開発事業の実施と促進(施策38にも記載)
- ■住宅密集地の改善促進

- ■緊急輸送道路の沿道や大規模な民間建築物の 耐震化支援
- ■応急危険度判定等の体制の強化
- ■防災拠点を結ぶ道路の整備 (施策40にも記載)
- ■無電柱化の推進
- ■幹線道路のミッシングリンク\*解消や多車線化

施策40にも記載

- ■緊急交通路\*の機能強化
- ■大地震に備えた道路啓開体制の強化

# 橋りようの耐震化

## 施策指標

## 平成8年より古い基準で建設された橋りょうの耐震補強率

69.8% (今和2年度末) **85.8**% (今和8年度末)



阪神淡路大震災(平成7年)



高速道路の橋脚

東日本大震災(平成23年)



鹿行大橋

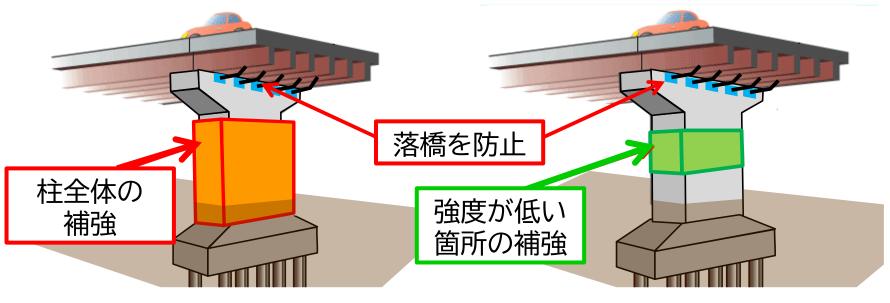
熊本地震(平成28年)



高速道路を跨ぐ橋

## 緊急輸送道路

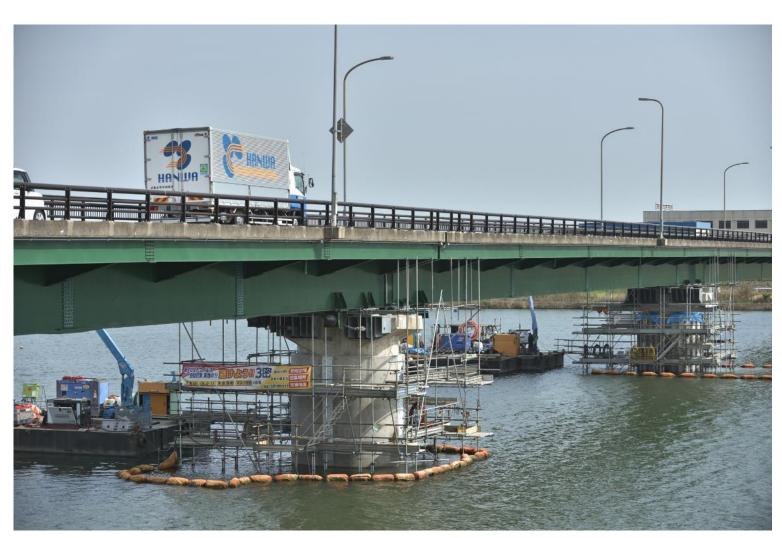
## 緊急輸送道路以外







## 耐震補強の例









救命活動 を支える道路をつくる

## 地震でも壊れないインフラ をつくる





|事業者の選定 (工事の



地元への説明など



現地の測量 設計など



補強の対象を決定



事業方針 ・優先順位などを決定

# 無電柱化の推進

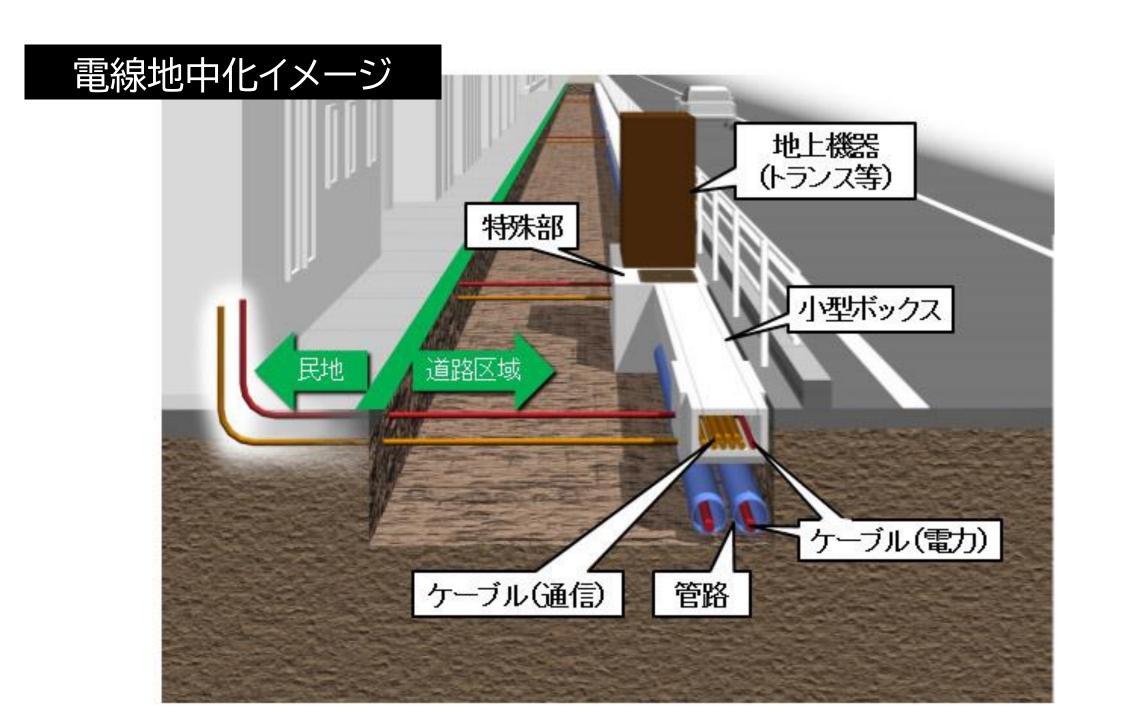
## 電線類の地中化の整備延長























# 防災拠点を結ぶ道路の整備

ミッシングリンクの解消・多車線化

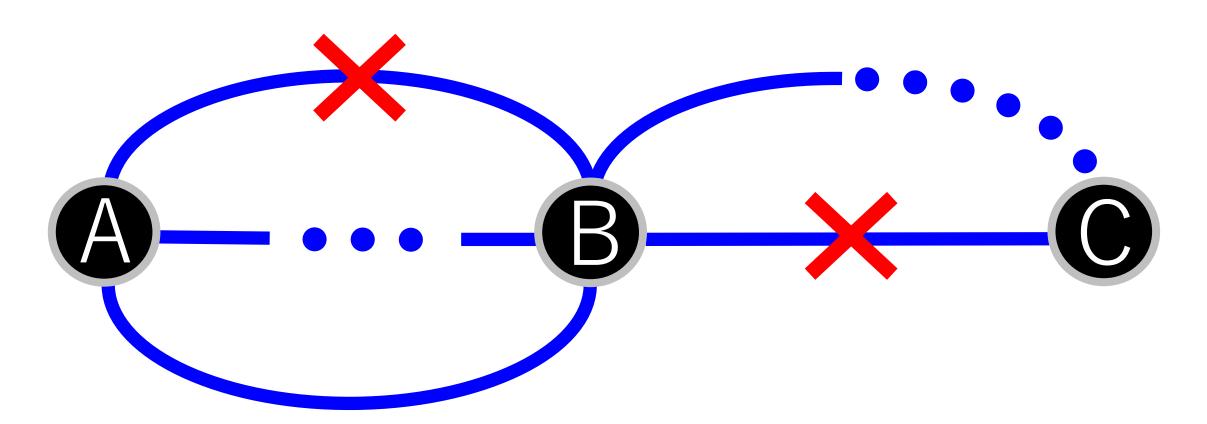
## 幹線道路のミッシングリンクの解消 - 多車線化

## ミッシングリンクの解消

→ 幹線道路網の多重化

## 多車線化

→ 交通量の増加に対応



災害に備えるためにも、複数のネットワークの確保が重要

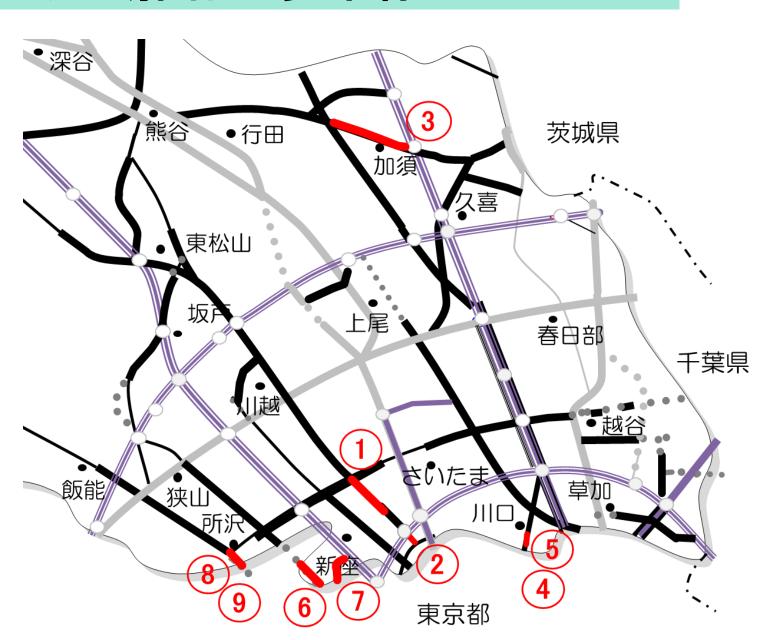
## 幹線道路のミッシングリンクの解消 - 多車線化

## ミッシングリンクの解消

→ 東京都とつなぐ 道路網の強化

## 多車線化

→ 主要な幹線道路の 4車線化など





|事業者の選定 (工事の



用地の取得



地元への説明など



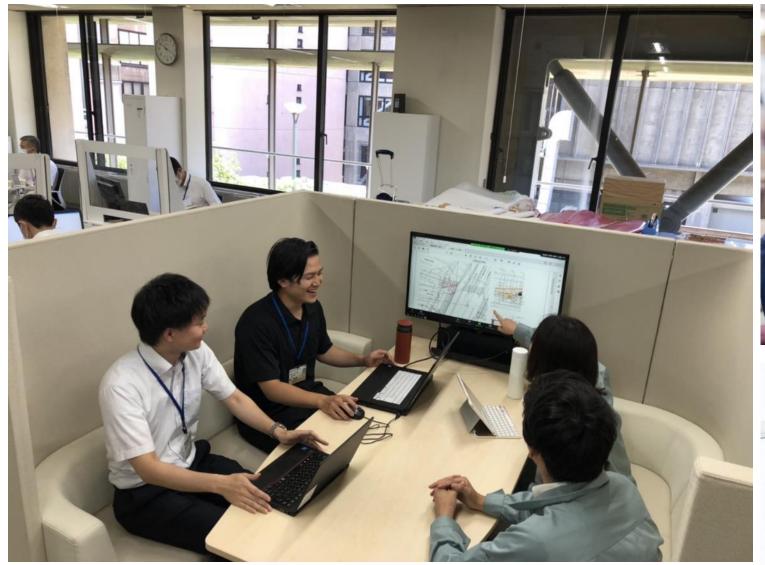
現地の測量 設計など

整備路線の決定・規格等の検討



広域的な道路網の検討











## 100年残るインフラ をつくる

## 地図に残る 仕事をする





## 道路 整備

## 道路網の 強化





整備前

## 整備後



## 総合土木職の仕事

- 〇 インフラの整備や維持管理
- 〇 未来を見据えて、県民の安心・安全を守る